



全国竹とんぼ競技大会で2種目優勝  
岡島 正和さん・65歳  
茂木町

### 作って飛ばせるから楽しい

竹とんぼの高度や時間、飛距離などを競う全国大会が10月に神奈川県で行われた。この大会で、重りを付けて飛ばす滞空高度と滞空時間の2種目で見事優勝した。高度は46歳、滞空時間は21秒に達した。

「良い記録が出ましたが、すぐに全国のライバルに抜かれると思っていました。みんなわたしが勝つとは思っていませんでした」

竹とんぼとの出会いは6年前。祭りで見ると面白そうだったので、竹とんぼの作り方を教えてもらったのが、いつのまにか自分の生活の一部になっていきました。

竹とんぼの楽しさは、作ることから始まる。夕食を済ませると自分の部屋で作り始める。手作りのため2度と同じ物はできないという。「心を込めて作っています。自分で工夫して作った物が、すぐに空を飛ぶって楽しいですよ」

風が吹かない日に大室公園で練習。お風呂の中で手と手をこすり合わせ飛ばす練習もしている。

「竹とんぼが空高く上がるのを見ると心も体もリフレッシュしますね。飛ばした物を取りに歩くのでいい運動にもなるんですよ」

若いころから木工製品を作るのが好きだった。現在、館林市にある上州竹とんぼの会で子どもたちに竹とんぼの楽しさを教えている。

「機会があれば、今後は前橋市民とも交流していきたいですね」

健康に注意し、生涯現役で竹とんぼを飛ばし続けてほしい。

### 中心市街地が活気で熱く沸いた

食と文化、環境と自転車を楽しむ「まえばしフェスタ2008」が11月8日、中心市街地で行われました。会場では、豚肉料理の屋台村や子豚のレース、大道芸、また、全国から100人以上が集まったちんどん競演会、自転車の魅力を楽しむコーナーも。街中は夜まで多くの人の声とちんどんの軽快な音色が響きわたり、活気に満ちていました。



### 若い芽のポエム

昨年度行われた第11回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

#### ★入選 花ひらけ

桃井小3年  
橋本 やや香さん

出てきたばかりのめ  
小さいね かわいいね  
みんながかこんで見てる  
今日はちよっぴりのびたね  
葉もふえたね  
こんどはつぼみ  
つぼみには  
ちよっぴり色がつき始めたよ  
どんな花さくかな  
花が開くまで  
いつばい水をあげた  
つぼみの先がわれてきた  
このつぼみ  
むらさきの花をさかせるみたい  
がんばれもうすこし  
さいてさいて  
開いてその時  
温かい風がふいた  
「こんにはは」  
声が出た  
だれ？  
花だんから聞こえた  
わたしただよ  
みんながいつも

#### ★入選 きょうふの学校

荒牧小2年  
伊藤 裕輔さん

きょうふの学校ってどんなの？  
いちばんこわいののはりかしつだなあ。  
りかしつは、じんたいもけいにかいこつ。  
もし、うごきたしたらすつごくこわいなあ。  
にばんめは、かいだんです。  
かいだんは、一だんふえたりへつたりするんだよ。  
さんばんは、図書しつです。  
あまり本を読まない、本から字がぬけだしてかこまれると本がますますすきらいになるっていうウワサがあります。

### フレンチの鉄人が講演



11月12日、市民文化会館で、フレンチの鉄人として有名な坂井宏行さんを講師に市民講座を開催しました。坂井さんはシェフ姿で「私の料理人生」と題し講演。参加者は熱心に聞き入っていました。

### みんなで学んだ生活の知恵

「活かそう消費者・生活者の視点」をテーマに11月9日、グリーンドーム前橋で消費生活展を開催しました。クイズや試食、講演会など多彩な催しに会場は大にぎわい。来場者は各ブースに足を運び、暮らしに役立つ知識を楽しく学びました。

